

地域おこし協力隊活動実績報告書

隊員氏名： 永尾 俊晴

- ・活動期間：令和4年9月1日～令和5年3月31日
(委嘱日：令和4年9月1日)

1. 隊員の活動テーマ

活動テーマ	定住促進 ※共通
より具体的なミッション	地域資源の付加価値向上 1. 地域資源を生かした商品の開発 2. 地域資源のPR

2. 活動の検証

(1) 定住促進への直接的効果

移住等の相談を受けた件数	2件 (1人)
移住希望者に現地案内などの活動を行った件数	1件 (1人)
うち移住につながった人数	件 (人)
うち移住につながる可能性のある人数	1件 (1人)
具体的な相談の内容	<p>・26歳男性(高槻市在住)：美山町へ何度か観光で来訪してくれたため、美山町内を案内。南丹市の環境に興味を持っていただいた。「地方での移住に興味がある」「地元にも戻りやすい場所が良いと考えており、高槻からだと園部の距離感がいいと思っている」とのことだった。</p> <p>「仕事との兼ね合いがあるので、何年後かに検討したいと思っている」とのことだった。</p> <p>・上記の知人男性以外には、「美山まるごと内覧会」への参加、チャットで「地方移住に興味がある知人がいるので、住居などどうして決めたいか教えてほしい」との相談を受けた。</p>

<p>今後の展開や展望または反省点など</p>	<p>相談内容については、住む場所や環境について、知人からの質問や相談が中心だった。具体的な移住相談にまでは至らなかったため、南丹市での暮らしや地域資源の魅力を伝えることで、移住に対する温度感を高めるアプローチを行いたい。</p>
-------------------------	---

(2) 具体的な活動について

<p>活動を展開した地域数と名称</p>	<p>地 域 数：6 地域 地域の名称：(美山町内久保、美山町下、美山町下吉田、美山町鶴ヶ岡、美山町安掛、八木町吉富)</p>
<p>移住者受け入れや地域振興への意識が高まったと思われる地域数と名称</p>	<p>地 域 数：3 地域 地域の名称：(美山町内久保、美山町下、美山町鶴ヶ岡) ※具体的な新商品企画に繋がった地域資源がある地域</p>
<p>今後継続的なアプローチにより意識が高まる見込みの地域数と名称</p>	<p>地 域 数：6 地域 地域の名称：(美山町内久保、美山町下、美山町下吉田、美山町鶴ヶ岡、美山町安掛、八木町吉富)</p>

活動内容	現在の課題	期待する成果・展望
<p>(美山町下：さつまいも、美山木炭)(美山町内久保：美山山椒)(美山町鶴ヶ岡：黒米、餅) 地域資源を活用した新商品企画</p>	<p>新商品企画に実際に結び付くまでに、コスト面や取り組みのハードルが少し高いため、地域住民とより協議の場を増やしながら、推進していく時間が必要。 商品開発後の中長期的な課題は、原料生産および加工の後継者育成。</p>	<p>南丹市の現在活用されていない地域資源を加工・商品化することで、地域に潜在的にある魅力的な文化や特産が、若い世代に持続可能な形で引き継がれていく流れをつくること。</p>
<p>(美山町鶴ヶ岡：黒米、桑茶等)(美山町下吉田：味噌)(美山町鶴ヶ岡：水車米)(八木町吉富：塩糍) 地域資源を活用した商品の、販売促進計画・SNSなどを通じたPR活動</p>	<p>SNS・WEB等で発信した後、実際の購入や口コミ増進につなげるための場所が、オンライン/オフラインともに少ない。 (定期的に同じものが同じところで買える場所がない。)</p>	<p>より多くの地域内外の消費者に商品の魅力を知り、体験していただくことで、地域全体の知名度向上や地域活動の理解が深まること。</p>

3. 活動表

活動年	実績・効果、目標
1年目	<ul style="list-style-type: none"> ・目標「地域資源と地域活動への理解を深め、多くの事業者と知り合う」 ・活動内容 <ul style="list-style-type: none"> ・南丹市にどのような地域資源があるか、集落支援員や振興会のご協力をいただきながら、買い物・ヒアリング調査を行った。 ・声が上がった地域資源についての活用方法を考案した。 ・最初の商品企画として、美山町内下集落等で栽培される「さつまいも」と美山町内久保集落の「美山山椒」を組み合わせた“京都美山かやぶきけんぴ 美山山椒”などの商品開発を実施。 ・その他にも、美山町鶴ヶ岡特産の黒米餅・とち餅を、美山町下の美山木炭で焼きもちにして販売する「里のごほうびぜんざい」、美山町中村の弁当店と市内の素材を使用した季節替わりの「里のごほうび弁当」など、商品企画およびテスト販売を行った。
2年目	<ul style="list-style-type: none"> ・目標「地域資源を活用した商品のPR、および商品体験を企画する」 ・活動内容 <ul style="list-style-type: none"> ・1年目で活用できなかった未活用資源や、活用ニーズのある地域資源などをさらに掘り起こした商品開発を行う。 ・地域資源を活用した商品をSNS等を通じてPR。さらに、インフルエンサーやアンバサダーなどに地域資源を体験していただくイベントを企画することによって、知名度の向上をはかる。
3年目	<ul style="list-style-type: none"> ・目標「地域資源を活用した地域の名物商品が、より多くの地域から生まれ、各地域内での地域資源生産活動が活発な状態をつくる」 ・活動内容 <ul style="list-style-type: none"> ・新商品企画および商品のリニューアルを南丹市各地域で展開。観光客が各地域の名物を体験する機会をつくる。 ・各資源および商品生産の後継者育成も視野に入れた移住者の呼び込みを行えるように、商品生産加工の工程の見直しを行う。
任期後に得たい成果・変化（自分自身・地域・関係者）	<ul style="list-style-type: none"> ・南丹市内に存在する地域資源の本質的な価値や魅力に、市内外の若い世代が積極的に興味を持ち、関わっていくまでの道筋ができる。 ・地域内外で地域資源の消費量が向上。地域資源を目的に来訪する観光客が増える。 ・地域資源を活用した新商品を地域の事業者とともに企画し、販売先とのマッチングも行っていくことで、地域商社のようなビジネスとして自立させたい。